

看護学生の学習意欲向上を目指した

Web教材導入による看護技術教育の取り組み

北里大学 看護学部准教授 中山栄純

1. はじめに

従来の看護技術の演習は、最初に教員によるデモンストレーションを見て、その方法を模倣しながら演習していくというスタイルでした。このスタイルを大きく変えて、看護技術の演習に Web 教材を活用することで、学生の学習意欲向上に向けての1つの方向性を得ることができましたのでご紹介させていただきます。

2. Web教材の構成、看護技術演習への導入

Web教材は、北里大学高等教育センターがサポートしている Moodle のシステムを活用しています。演習で実施するほとんどの看護技術項目は教員が実施して動画に起こしたものを掲載し、学生が学内のみならず自宅のパソコンからでもいつでも閲覧できるように配慮しました。

学生が見たい看護技術項目を選択すると該当の動画が閲覧できます。動画では、その技術を実施する際に注意すべきポイントをテロップで強調し、学生の理解が深まるように配慮しています。

また、教員が個々の学生のアクセス状況を把握できる機能もあります。この機能により、どの学生が予習をして授業に臨んでいるのかを把握した上で演習を進めることができます。

3. Web教材導入の効果

Web教材を導入したことの効果について考えてみたいと思います。学生の Moodle のアクセス状況をみると、授業の前日、当日のアクセス数が突出しており、多くの学生が動画を閲覧したうえで授業に臨んでいました。以前までは、演習当日に教員のデモンストレーションを見てから実施できるとの安心感から、予習をしてくる学生数は少数であったのが現状でした。したがって、今回のように演習の開始前にこのように多くの学生が教材にアクセスし、動画を閲覧した後に参加していることは大きな効果の1つであると考えます。また、この単位ではスキルチェックを導入しましたが、スキルの習熟度は例年より高いという結果が得られました。

ただ、その一方で、いくつかの課題も見えてきました。まずは、このような授業のスタイルを変えたにもかかわらず、予習してこない学生が少なからず存在する事実です。また、学生には予習の際には動画を見る前に必ずテキストでその方法の根拠などを見るように指導および Moodle 上でも告知していますが、実際は動画のみしか見てきておらず、その根拠を授業中に尋ねると理解していない学生がいることも事実です。

もう1つの課題は、この教材の利用が予習に比べて、復習での活用が明らかに少ないということです。今回の教材は復習でも活用できるように意図して作成しました。授業で演習して得た学びをさらに深めてほしいと期待していますが、なかなかそこまではつなげられていません。学生の学習環境を整えるためにも、これらの課題については今後も検討を続けていきたいと担当教員一同考えています。

4. 最後に

今回の対話集会で、本校の取り組みについて紹介させていただき、皆様と貴重な意見交換できることを楽しみにしています。